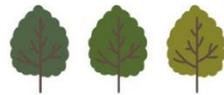




樹木伐採完成のお知らせ



鮭川出張所管内の3箇所（戸沢村名高地区・鮭川村庭月地区・真室川町平岡地区）の支障木（※洪水などの際に流れが妨げになる樹木のこと）の伐採がすべて完成しました。河道内の樹木は、洪水時に流れを阻害したり倒れて流出し、橋梁や堰等に引っかかり破損させたりする恐れがあります。また、河川巡視を行う際には視界を遮りゴミの不法投棄の発見が遅れるなど監視の妨げにも繋がります。鮭川出張所では、こうした支障木を計画的に伐採しています。また、コスト縮減や資源の有効活用を図るため、樹木の売り払いと無償提供を行います。

庭月地区

出典：地理院地図に工事現場等を追記して掲載



伐採前



伐採後

平岡地区

出典：地理院地図に工事現場等を追記して掲載



伐採前



伐採後

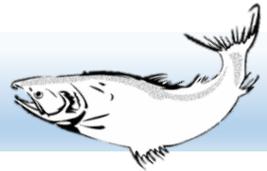
名高地区

出典：地理院地図に工事現場等を追記して掲載



鮭

の里親事業 ～鮭の稚魚を放流しました～



2月26日(土)に、鮭川小学校・東京都荒川区の第二暮里小学校・尾久宮前小学校の3校で育てた鮭の稚魚を鮭川に放流する「鮭の里親事業」が行われました。(※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から鮭川小学校及び、サーモンモードの会等の各関係者で行われました。)荒川区の各小学校へは、メッセージ付きのビデオレターと、鮭川村の鮭の一生の動画を送るそうです。この放流事業は、鮭川の文化を知ってもらい鮭を通じて子供たちの交流を深めようと毎年取り組まれています。荒川区の各小学校との合同での開催は今年で10回目になります。参加した鮭川小学校の児童は、大切に育てた鮭の稚魚たちが泳いでいく姿を見守っていました。



放流の様子

各小学校で育てた約10,000匹の稚魚を鮭川と泉田川の合流地点に放流しました。この稚魚たちは4～5年かけて約1,200kmの距離を回遊しながら成長しましたこの鮭川へと戻ってくるのです。

雪解けによる河川の増水(融雪出水)にご注意を

3月中旬になり、徐々に春が近づいてきました。暖かい気温が続くこれからの時期は、気温の上昇に伴い雪解けが進み川の水位が上がります。ひとたび雨が降ると、一気に水かさが増し洪水になる危険があります。山間部にはまだ積雪が残っており、気温が上昇した際に少ない雨でも河川の水位が増水する恐れがあります。河川に近づく際は、事前に気象情報を確認し、水位が上がっている時は大変危険ですので、河川には近づかないようにしましょう。



国土交通省が運営する「川の防災情報」では、河川の水位の状況などをインターネットを通じリアルタイムで配信し、避難に必要な情報を提供しています。この他、**レーダー雨量・気象情報・注意報・水位情報・浸水の危険が高まっている河川・洪水情報**なども確認することが出来ます。新庄河川事務所のホームページからもアクセス出来ます。ぜひ、ご覧になって下さい。

アクセスはこちらから→ <https://river.go.jp>



国土交通省 新庄河川事務所 鮭川出張所
〒999-5203 山形県最上郡鮭川村大字川口字鶴田野3018-4
TEL 0233-55-3020 FAX 0233-55-3083

お問い合わせ

HP: <http://www.thr.mlit.go.jp/shiniyou/>
広報紙担当: 後藤・三原
広報紙に関するご意見・ご感想をお寄せ下さい。